

# 安全衛生管理の 取り組み

Safety Management

労働災害を防止し、安心して働ける職場環境を創造するため、労働安全衛生マネジメントシステムの構築・運用をはじめとした、さまざまな取り組みを進めています。

# 地域社会との共生

For Community

三井金属グループは、良き企業市民として地域社会に貢献することを企業発展の基礎条件と捉え、有害物質の排出削減や鉱山跡地の活用、地域からの雇用促進、清掃活動など、多様な社会貢献活動を展開しています。

## 労働安全衛生マネジメントシステム

システム定着に向けた取り組みを展開しています

三井金属グループでは、働きやすい職場環境を作りあげる仕組みとして労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を安全衛生行動計画に織り込んでいます。2004年度より順次構築を進

め、2008年7月には、対象の37所社すべてにおいて構築を完了。現在は、システムの定着に向け、定期的なRAや内部監査の実施、KY活動の推進に取り組んでいます。

## 労働安全衛生関連研修会と安全監査

研修と監査を通じて、安全な職場づくりに努めています

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、2004年から全所社を対象に労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。また、リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社でも2年に1回、

安全監査を実施しています。監査においては、リスク評価、危険予知、ヒヤリハットなどの安全活動の状況、ならびに労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、労働安全衛生マネジメントシステムとの整合性をチェックしています。

## 安全成績

「安全基本ルール」の徹底を図っています

2010年のグループ全社災害件数は、前年から13件減少し、26件となりました。また、休業災害は前年より5件減少し、8件となりました。

三井金属グループでは、法令や安全基本ルールが守られないことに起因する災害を抑止するため、管理監督者に作業者の手本となる行動を取るよう指示するとともに、作業者に対しても、安全基本ルールを熟知し、実作業の中で遵守するよう厳格に指導しています。

全社災害件数推移(災害件数は、三井金属グループ[協会社含む])



## 安全への取り組み

災害予防に重点を置いた取り組みを進めています

三井金属グループ各所社では、災害予防(予防安全)に重点を置いた取り組みを進めています。RAの実施を通じてリスクの大きい設備を改善するとともに、不安全行動による災害を低減するためKY活動に注力しています。

各所社では、「目に訴える安全の仕掛け」を重視し、「安全基本ルール」や「安全最優先」を記した大型掲示板を標示する一方、災害発生場所の標示や、横断歩道や階段での指差呼称指示

の標示を行っています。また、安全衛生意識の向上を図るため、階層別安全教育やKY教育、安全体感教育を実施しているほか、作業者との対話・コミュニケーションに留意したパトロールを就業日、公休日を問わず実施しています。



安全体感教育

## 有害物質の排出削減

八戸製錬(株)八戸製錬所では、砒素化合物の排出削減に取り組んでいます

八戸製錬(株)八戸製錬所は、排ガスに含まれる砒素化合物濃度を低減するために、スラグフューミング炉、発電所、熱風炉など製錬設備の改善や湿式電気集じん機の設置等を進めてきました。この取り組みにより、八戸製錬所周辺の大気環境中の砒素濃度は大幅に低減し、2008年度以降は全国の平均値(2ng/m<sup>3</sup>)を維持しています。

八戸製錬所の有害物質削減に向けた取り組み

- 2006年
  - バッグフィルターの材質変更によるダスト捕集率向上
  - 排ガス温度最適化によるバッグフィルターのダスト捕集率向上
  - バッグフィルターの出口にダストモニター設置
- 2007年 9月
  - 湿式電気集じん機稼働開始 (スラグフューミング炉の排ガス処理設備として)
- 2008年 7月
  - 湿式電気集じん機稼働開始 (火力発電所の排ガス処理設備として)
- 2009年 3月末
  - 湿式電気集じん機稼働開始 (熱風炉の排ガス処理設備として)



スラグフューミング炉の排ガス処理設備



発電所の排ガス処理設備



熱風炉の排ガス処理設備

## 地域貢献活動

工場周辺の清掃活動を行っています

三井金属グループは、工場周辺の環境美化を重要な地域貢献活動のひとつと考えています。2010年度は竹原製錬所、彦島製錬、串木野鉱山、特殊銅箔(上尾)で清掃活動を実施しました。



彦島製錬付近の海岸清掃



串木野鉱山正門付近の清掃